

(別紙)

福祉サービス自己評価結果票 (障害者・児版)

- ※ すべての評価細目 (64 項目) について、判断基準 (a・b・c の 3 段階) に基づいた評価結果を表示する。
- ※ 評価細目毎に船形コロニー各部所評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		自己評価結果
I-1-(1) 理念, 基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念, 基本方針が明文化され周知が図られている。	① a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター： a) 理念や基本方針は明文化されており，職員へ配布・周知しています。</p> <p>(地域移行推進部： a) 施設概要・事業計画に理念・基本方針が明記されており，会議等で職員に周知されています。家族への周知は，育成会総会時や園毎のふれあい面会日などで説明しています。</p> <p>(なでくらセンター： a) 理念や基本方針は法人の年度事業計画・収支予算書に明示され，ホームページ等に掲載されており，全職員にも配布・周知されています。重度・最重度の利用者への周知に関し，内容の理解を求めるのは厳しい状況なので，家族へは機会ある毎に周知するよう努めています。</p> <p>(まつくらセンター： a) 理念・基本方針が明文化され法人の事業計画書やホームページ等に掲載されています。</p> <p>(とがくら園： a) 理念・基本方針が明文化され，職員間においても周知が図られています。</p> <p>(かまくら園： a) 法人の事業計画，ホームページ等に明文化されています。年度当初各職員へは，配布の事業計画綴りにて周知を図っています。また，廊下の掲示板に掲示しているほか，年度当初のふれあい面会日の際に来園した代理人へ伝えています。</p> <p>(おおくら園： a) 法人事業計画書，パンフレット，ホームページに掲載している他，会議室，スタッフルームへ掲示しています。利用者には自治会集会時にわかり易く説明を行うとともに，各寮の勤務室に利用者さん向けのわかり易い事業計画を掲示しています。家族には年度初めの家族会集会にて説明を行っており，参加されなかった家族には事業計画を郵送させて頂きました。職員には各個人毎に説明をしています。</p>		

I-2 経営状況の把握

		自己評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>事業評価・モニタリングを実施し課題等の把握分析を行っている。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>自立支援協議会への参加などで福祉計画の動向など把握しています。法人内の事業自己評価等で事業毎の進捗状況や課題を把握し、利用率向上等の分析・実行をしています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>社会福祉事業の動向や障害者のニーズ等については、法人本部と連携し関係機関から情報を収集し、把握するよう努めています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>法人本部と連携して経営の確立とサービス向上に努めている。運営会議で経営等の確認をし報告書で全職員に周知しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>法人本部と連携して経営の確立とサービス向上に努めています。動向については、関係機関や厚労省等の情報収集に努めています。週1回の運営会議で経営について確認、報告書などで職員への周知を図っています。法人として事業評価の取り組みを行っています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>法人本部と連携して経営の確立とサービス向上に努めています。運営会議で経営等の確認をし、報告書で全職員に周知しています。法人として事業評価の取り組みをしています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>法人本部と連携して経営の確立とサービス向上に努めています。動向については関係機関や厚労省関係の情報の収集等に努めています。運営会議で経営等の確認し報告書で全職員に周知しています。法人として事業評価の取組を行っています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>四半期ごとの事業報告で事業の進捗や取り組み状況等把握している。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>法人内の事業自己評価等で事業毎の進捗状況や課題を把握し、施設整備や人材育成等実行されています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>法人本部が課題情報を収集した上、結果状況報告を分析し、次年度へ反映しています。一般</p>		

職員への周知不足がみられました。

(まつくらセンター：a)

年度での事業評価，四半期毎の事業報告をしています。

(とがくら園：a)

法人として定期的に正副会長会議や経営会議が行われ経営課題について理事会・評議員会議で審議・報告しています。年度での事業評価，四半期毎の事業報告(進捗)等で課題分析をしています。

(かまくら園：a)

法人として定期的に正副会長会議，経営会議等が行われ，経営課題について理事会，評議員会で審議・報告をしています。事業評価や四半期毎の事業報告(進捗状況)等で課題分析をしています。

(おおくら園：b)

法人として定期的に正副会長会議，経営会議等が行われ，経営課題について理事会，評議員会で審議，報告しています。年度での事業評価，四半期毎の事業報告(進捗)他で課題分析していますが一般職員への周知不足がみられました。

I-3 事業計画の策定

		自己評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㊦・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>法人の中長期プランが作成され職員への周知のための説明会を順次行う予定です。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>法人として中長期プランが策定されており，各施設・事業毎に数値目標を設定し，実施されています。事業報告や事業評価で見直しされています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>法人として中長期プラン，施設としてアクションプランが策定され，四半期報告・年度の事業自己評価にて検討されています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>法人として中長期プランを策定しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>法人として「中長期プラン」が策定されています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>中・長期のビジョンと計画はそれに代わるものとして法人の中長期プランが策定されています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>法人の中長期プランが策定されており，サービス向上ワーキングにて検討しています。</p>		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉓・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>中長期プランを反映した年度毎の事業計画を作成しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>中長期計画に添った事業計画が作成されています。また、四半期毎に数値目標に対する達成状況を取りまとめています。評価については事業自己評価を作成し、法人のヒアリング及び評価に対する講評や指摘を受け、事業の取り組みに反映しています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>中長期経営プランを反映して、単年度毎に事業計画を策定しています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>年度毎の事業計画は法人の中長期運営プランを反映したもので具体的内容が示されています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>年度毎の事業計画は、法人の中長期経営プランを反映したもので具体的事業内容が示されています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>平成30年度事業計画に反映されています。年度毎の船形コロニー事業計画は中長期経営プランを反映させたもので、単年度における具体的な事業内容が示されています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>年度毎の船形コロニー事業計画は法人の中長期経営プランを反映したもので、単年度における具体的な事業内容が示されています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉓・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>四半期毎に進捗状況の確認を行い状況の把握等行っています。運営会議で検討し、会議の報告を行って職員に周知しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>職員会議等で事業計画の実施状況の評価や見直しが話し合われ、四半期毎に実績に対する評価がなされています。年度毎の事業計画は全職員に配布され、職員会議等で説明され、参加できなかった職員にも会議録を回覧して周知に努めています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>四半期毎に運営会議の中で、進捗の確認と検証を行い、反省・見直しを途中経過としてスタッフ会議・職員会議等で周知するとともに次の計画に反映されています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>四半期毎に事業報告をしています。反省等を踏まえ意見や提案を参考に策定しています。</p>		

<p>(とがくら園：a)</p> <p>事業計画の策定については職員に周知し、意見を集約、反映のもと策定しており、各事務分掌において、事業進捗の確認を四半期ごとに行い報告しています。また、その状況を周知するとともに次年度の事業計画に反映しています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>四半期毎に事業報告を作成し進捗状況を確認しています。検証・反省を行い職員会議において周知するとともに、意見を参考に次の計画に反映させ作成しています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>四半期毎に事業報告を作成し進捗を確認し、検証・反省等を行い、スタッフ会議、職員会議等において周知するとともに、意見を参考に次の計画に反映して策定しています。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：b)</p> <p>ご家族への周知は育成会などを通じて行っているが、利用者への周知については工夫が必要です。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>利用者自治会や家族会の場で事業計画の説明を実施し、意見聴取に努めています。</p> <p>(なでくらセンター：b)</p> <p>利用者には自治会集会で、家族には育成会総会やふれあい面会日を利用した家族懇談会及び活動参観時に概要を説明しています。事業内容を分かり易く説明した資料等は作成していません。重度・最重度の利用者への周知に関し、内容の理解を求めるのは厳しい状況なので、家族へは努めて周知するようにしています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>家族への説明は育成会総会時に説明をしています。</p> <p>(とがくら園：b)</p> <p>利用者・家族への周知が十分とはいえなかったため、工夫・改善していく必要があります。</p> <p>(かまくら園：b)</p> <p>家族への説明は育成会総会時やふれあい面会時に行っています。利用者には自治会集会等で説明していますが、重度・最重度知的障害を有している方が多く、十分な説明ができているとは言えません。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>利用者には自治会集会で説明した他、各寮のデイルームに分かりやすく作成した事業計画を掲示しています。また家族には年度当初の家族会総会で説明しています。参加できなかった家族、代理人にも事業計画を送付し説明しています。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	

8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>自己評価の実施，第三者評価の受審実施し，向上に向けた取り組みを行っています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>第三者評価を3年毎，自己評価は毎年実施しており，第三者委員に対しての報告～改善是正等でサービスの質の向上に努めています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>自己評価を毎年，福祉サービス第三者評価を3年に一度実施し，福祉サービスの向上に努めています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>法人のサービス評価規程があります。サービス評価(自己評価)を毎年度実施しています。第三者機関による評価は3年毎に一回行っています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>法人のサービス評価規程があり，サービス評価自己評価を毎年実施しています。また，第三者機関による外部評価は，3年ごとに実施しています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>法人のサービス評価規程により，自己評価（毎年）及び第三者機関による外部評価（3年に1回）を行っています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>法人のサービス評価規程があり，サービス評価部会が組織されています。第三者評価を3年に一度，第三者評価を受けない年は自己評価を実施しており抽出された課題は園内におけるスタッフ会議で評議され，改善のための具体的取り組みを実施しています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし，計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>評価の結果を踏まえ，計画に沿って改善を図っています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>第三者評価を3年毎，自己評価は毎年実施しており，第三者委員に対しての報告・改善によりサービスの質の向上に努めています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>評価の結果を踏まえ，課題を明確にし，必要に応じて改善を図っています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>評価の結果を踏まえ課題を明らかにし必要に応じて改善を図っています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>評価の結果を踏まえ，課題を明らかにし，必要に応じて改善を図っています。</p> <p>(かまくら園：a)</p>		

評価の結果を踏まえ課題を明確にし必要に応じて改善を図っています。

(おおくら園：a)

評価の結果をふまえ、課題を明確にし、必要に応じて改善を図っています。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㊦・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>各種規則、事務分掌に明記されています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>事務分掌において役割は明確にされ、運営会議などで確認、会議録で職員に周知される仕組みになっています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>管理者の役割については、組織規則や事務分掌表に明記され、管理者自らは年頭のあいさつや各種会議などで表明し、理解を図っています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>各種規則・事業分担表において明記されています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>管理職の役割や責任については各種規則、事務分掌分担において明示しています。職員会議、朝の引継ぎ時などに説明しています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>管理者の役割や責任について、各種規則・事務分担表において明記されています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>事業計画に事務分掌として記載し、全職員に配布し職員会議にて説明している他、毎朝の全体引き継ぎ時に説明しています。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㊦・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>規則などの変更は都度周知しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>職責毎の研修があり、管理者に至るまでの段階でも法令遵守については最優先事項になっています。</p>		

<p>(なでくらセンター：a)</p> <p>コンプライアンスルールを事業経営に取り込み、制度の変更、規則や規程の改訂などはその都度周知が図られています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>制度の変更や規則、規程などの改定があればその都度回覧周知を図っています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>コンプライアンスのルールを事業の中核として取り組み、制度の変更・規則・規程の改定などは、その都度、周知を図っています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>制度の変更や規則・規程の改訂があればその都度文書の回覧と会議などで周知を図っています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>制度の変更、規則、規程の改訂など、その都度周知を図っています。日常においても倫理綱領を基に法令遵守に関する話をしています。</p>		
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	<p>Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>適宜職員への指導・アドバイスを行っています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>毎週運営会議を開催し、進捗状況など現状確認と課題に対して、職員間で話し合いながら質の向上につなげています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>サービスの質について、会議など機会ある毎に助言指導を行っています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>利用者の日常的な要求をひづめの会において利用者の声を聴いています。月一回定期的に実施しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>利用者の日常的な要求（利用者の声）の把握や虐待防止セルフチェックなどを定期的に行っています。また、外部研修への積極的な参加や日常的指導、意見交換などで助言を行っています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>利用者の声を把握し、適宜職員への指導・アドバイスを行っています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>サービス向上のために、その都度担当者に対して適切な助言指導を行っています。</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a・b・c

<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：b)</p> <p>事業についての方向性など会議や打ち合わせ等で発信しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>人員配置など職場環境も含め、加算算定など経営につながるよう法人と協議しています。また、運営会議などでの意識の統一を図っています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>法人本部と連携して経営の確立とサービスの向上を図るとともに、運営会議などにより各現場の状況把握に努めています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>法人本部と連携をしながら経営の確立とサービス向上に努めています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>法人本部と連携しながら経営の確立とサービスの向上に努めています。また、業務の改善・効率化を図るため、福祉QCサークル活動に取り組んでいます。その他、職員打ち合わせ及びOJTの手法において助言・周知を図っています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>法人本部と連携しながら経営の確立とサービスの向上に努めています。業務の改善、効率化を図るため福祉QC活動に取り組んでいます。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>法人本部と連携して経営の確立とサービスの向上に努めています。業務の改善、効率化を図るため福祉QCサークル活動に取り組んでいます。職員打合せ及び、OJTの手法において助言・周知徹底を図っています。</p>

II-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画，人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：b)</p> <p>人員は確保できていない状況であり、今後も法人本部と連携して取り組みます。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>採用計画・人材育成は法人本部で計画され、職責毎の研修計画があり、実施されています。</p> <p>(なでくらセンター：b)</p> <p>経営計画や各現場の状況把握をもとに法人と連携して人事管理が行われ、各種研修参加を通して人材育成を図っています。有資格者に対する具体的プランは作成していません。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>法人及び事業所の計画に基づき、各種研修への参加などを通して積極的に人材育成に取り組んでいます。</p>		

<p>(とがくら園：a) 法人及び事業所の計画に基づき、各種研修への参加などを通して積極的に人材の育成に努めています。</p> <p>(かまくら園：b) 法人及び事業所の計画に基づき、各種研修への参加を通して積極的に人材の育成に取り組んでいますが、計画に基づいた人材の確保や育成は不十分です。</p> <p>(おおくら園：b) 適切な人員配置が出来るように必要な職員数を法人に要望するとともに、採用の都度、適正の把握並びに各現場の状況の把握に努めています。しかし職員の欠員については速やかに補充出来ませんでした。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a) 人事ヒアリングを行い管理に努めています。</p> <p>(地域移行推進部：a) 法人本部での規程に基づき人事管理が行われています。</p> <p>(なでくらセンター：b) 年1回、人事ヒアリングと複数職員で人事考課を年2回行い、実施後個別にフォローアップを行っています。</p> <p>(まつくらセンター：a) 人事ヒアリングの実施と人事考課を実施しています。</p> <p>(とがくら園：a) 人事考課要領に基づき、人事考課を年2回実施し個別にフォローアップを行っています。各種研修への参加などを通して積極的に人材の育成に取り組んでいます。</p> <p>(かまくら園：b) 人事ヒアリングと年2回の人事考課を実施していますが、人事の基準が明確ではなく職員への周知が図られているとは言えません。</p> <p>(おおくら園：b) 人事ヒアリングの実施と、年2回人事考課を実施し、個別にフォローアップを行っています。法人として人事基準や総合的な仕組みづくりについては周知されていません。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a) 安全衛生委員会を設置し職場の環境づくりの取り組みを行っています。</p> <p>(地域移行推進部：a) 安全衛生委員会で環境の整備や産業医の巡回相談について周知しています。改善事項については、計画的に進めています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p>		

人事ヒヤリング・なんでも相談窓口・産業医との面談の機会が設けられています。休暇や時間外労働等労働状況は定期的にチェックしています。

(まつくらセンター：a)

なんでも相談窓口の設置や産業医との面談などが設定されています。

(とがくら園：a)

就業状況は定期的にチェックしています。人事ヒヤリングの実施や産業医（週1回来園）の活用の機会が設定されています。

(かまくら園：a)

なんでも相談窓口の開設や産業医による面談の機会が設定されています。夏季休暇・有給休暇取得状況，時間外労働などをチェックし，就業状況の把握ができています。

(おおくら園：a)

なんでも相談窓口の設置，産業医との面談の機会が設定されています。夏季休暇・有給休暇取得状況，時間外労働を定期的にチェックしています。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17

II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

a・b・c

<コメント>

(事務管理センター：a)

新任職員には研修マニュアルに沿って目標を設定し研修を実施しています。個別にフォローアップを行っています。

(地域移行推進部：a)

OJTでの人材育成や人事考課，人事ヒヤリングでフォローアップ，面談など実施しています。

(なでくらセンター：b)

人事考課要領に基づき年2回，個人面談によるフォローアップが実施されています。新任職員にはOJTにて目標を設定し，実施されています。

(まつくらセンター：a)

法人として経験・階層別に分かれて職員研修を設定し，研修計画により取り組まれています。新人職員にはOJTを行い支援しています。

(とがくら園：a)

法人として，経験・階層別に分かれた職員研修が設定されており，研修計画を作成し取り組みがなされています。

(かまくら園：b)

法人として経験・階層別に分かれた職員研修を設定し，新任職員にはOJTを行うなど育成マニュアルに沿い目標を設定し実施していますが，職員個々人の研修計画の策定はなく目標の確認には至っていません。

(おおくら園：a)

新任職員にはOJTを行うなど育成マニュアルに沿って目標を設定し実施しています。一般職員に対しては，人事考課要領に基づき年2回面談を実施し，実施後は個別にフォローアップを行っています。

18

II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され，教育・研修が実施されている。

a・b・c

<コメント>

(事務管理センター：a)

経験・階層別に分かれた職員研修を受講しています

(地域移行推進部：a)

法人研修課で職責毎の研修計画を策定し、実施・評価・見直し等されています。

(なでくらセンター：a)

事業計画に研修の充実・強化が明示され、OJT・各種職員研修・所内研修などの計画がなされ実施しています。

(まつくらセンター：a)

法人として経験・階層別に分かれて職員研修を設定し研修計画により取り組まれています。新人職員にはOJTを行い支援しています。

(とがくら園：a)

法人として経験・階層別に分かれた職員研修が年度計画で策定されています。

(かまくら園：a)

法人として、経験・階層ごとに分かれた職員研修が年度計画で設定されています。外部研修や所内研修なども計画され実施しています。

(おおくら園：a)

事業計画に研修の充実、強化が明示され、OJT、各種職員研修、所内研修などの計画がなされ実施しています。

19

II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

①・b・c

<コメント>

(事務管理センター：a)

経験・階層別に分かれた職員研修を受講しています。新任職員にはOJTを行う等育成マニュアルに添った研修を実施しています。

(地域移行推進部：a)

法人本部で職員の資格取得状況は管理され、職責に応じた研修計画が策定・実施されています。外部研修については、可能な限り受講できるよう情報提供に努めています。

(なでくらセンター：a)

事業計画に研修の充実及び強化が謳われており、OJT・各種職員研修・内部研修などが実施されています。

(まつくらセンター：a)

法人研修の他にOJT等実施しています。また、外部研修・所内研修等に参加しています。

(とがくら園：a)

情報の提供ならびに担当業務などにかかわる資格取得を奨励し、休暇なども認められています。所内においては、研修委員会が定期的に必要な研修を企画・実施しています。

(かまくら園：a)

法人においては経験年数や職種別の研修を実施しています。新任職員には法人の研修のほかにOJTを実施しています。また外部の研修や所内研修へも積極的な参加を推進しています。

(おおくら園：a)

<p>新任職員には年4回の法人による研修の他、個別にOJTを実施しています。法人において経験年数、職種別の研修を実施しています。コロニー内でも研修委員会があり、内部研修会を実施しています。</p>		
<p>II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルに沿って受入しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルに沿って、実習生の受け入れを行っています。実習計画は学校側との連絡調整により作成し、実習期間中の振り返りの場を設けています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルが整備され、学校と連携・調整しながら受け入れを行っています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルを基本に実習生の受け入れを行っています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルに基づき受け入れしています。また、実習指導者は実習指導養成研修及びフォローアップ研修に参加しています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルを基に、専門職種に配慮したプログラムを用意し受け入れを行っています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>実習生受け入れマニュアルが整備され、目的について等に関しても明確化されています。受け入れに関しては、コロニー内の地域移行推進部が窓口となって行っていますが、園においても指導者研修を受講した職員が指導を行っています。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		自己評価結果
<p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>ホームページや会報などで公開しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>ホームページや広報誌、パンフレットで情報公開しています。</p>		

	<p>(なでくらセンター：a) ホームページ・会報・園内掲示板などで各種情報を発信・公開しています。</p> <p>(まつくらセンター：a) 法人各施設においてホームページを開設し情報を発信しています。行事の様子などをお知らせしています。</p> <p>(とがくら園：a) 法人、各施設事業所においてホームページを開設し各種情報を発信しています。ブログによる生活の様子も定期的に行っています。</p> <p>(かまくら園：a) 法人・各施設においてホームページを開設し情報発信しています。</p> <p>(おおくら園：a) ホームページを活用し各種情報を発信しています。特に利用者情報(生活の様子等)を多く発信しています。苦情や相談に関して園内掲示板での公表をしています。</p>	
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㊸・b・c
	<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a) 法人監査や会計監査等内外共に監査を受けています。指摘事項があればその都度改善しています。</p> <p>(地域移行推進部：a) 事業計画で事務分掌を明確にし周知しています。内部監査，外部監査ともに実施し，指摘事項については速やかに改善される仕組みになっています。</p> <p>(なでくらセンター：a) 事業計画で職務分掌を明示し，内部監査を実施すると共に外部監査も適正に受けています。</p> <p>(まつくらセンター：a) 定期的に適正な監査を受けています。</p> <p>(とがくら園：a) 経営・運営に関する取り組み情報をホームページ等においても明確に開示しています。内部・外部監査(法人・会計・事業)を実施し，昨年度より監査員監査も実施して第三者サービ ス評価等を積極的に受審しています。</p> <p>(かまくら園：a) 事業計画で事務分掌を明確にし周知しています。定期的に適正な監査を受けています。</p> <p>(おおくら園：a) 事業計画で職務分掌を明確にし周知しています。監査を適正に受けています。法人監査，会計監査，事業監査，昨年度より監査員監査を実施しています。</p>	

II-4 地域との交流，地域貢献

	自己評価結果
--	--------

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㊸・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>地域交流等としてゲートボール大会など開催しています。演芸や清掃ボランティア等も受け入れています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>地域交流，ボランティアの受け入れなど事業計画やマニュアルに基づき計画的に実施されています。老人クラブや小学校との交流会もあり，地域との関係づくりに繋がっています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>地域老人クラブや児童館，小学校等と交流事業を行っています。重度最重度利用者が地域と関わる機会は少ないのが現状ですが，個別社会体験外出では社会資源を積極的に活用しています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>地域交流ゲートボール大会等に参加するなど地域との関わりを持っています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>地域行事への参加や地域への外出など，必要に応じて地域の社会資源を活用し利用者の希望に対応しています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>体験外出や地域交流活動等に参加しています。外出することで地域との関わりが持てるよう計画し実施しています。</p> <p>(おおくら園：b)</p> <p>利用者の要望等ニーズを元に外出の機会をつくり，買い物，理髪へ出かけています。地域とのふれあい行事にも参加しているが社会資源に関するリスト化が十分ではありませんでした。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㊸・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルに沿って適切に対応しています。近隣との小学校とも交流し連携を図っています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>ボランティア受け入れマニュアル，受け入れ窓口を整備しています。小学校との交流会を実施し，学校との連携も図っています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルに基づき，受け入れ窓口を設け，CAPP活動や地域ボランティア等を受け入れています。また，地域小学校や児童館との交流会も図っています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>コロニーとしてボランティアの受け入れマニュアルに基づき窓口を整備しています。ボラン</p>		

ティア活動として吉田小学校・吉田児童館へのボランティア活動を毎年実施しています。

(とがくら園：a)

ボランティアの受け入れマニュアルや窓口を整備し、地域住民によるボランティアを積極的に受け入れています。「動物介在活動」を行うボランティアを定期的(年10回程度)に受け入れ、所内外の方々に喜ばれています。

(かまくら園：a)

コロニーとしてボランティア受け入れ要綱・受け入れ窓口を整備しています。地域の小学校で行われる交流会に参加することもあります。

(おおくら園：a)

コロニーとしてボランティア受け入れマニュアル、受け入れ窓口を整備しています。地域の学校教育への協力として、富ヶ丘小学校、吉田小学校と交流会を実施しています。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25

II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。

①・b・c

<コメント>

(事務管理センター：a)

地域移行推進部が中心となって関係機関と連携を図っています。

(地域移行推進部：a)

関係機関一覧(当該市町村、相談支援事業所、協力医療機関等)を作成し、職員間で共有できるように各部署に配布されています。圏域の自立支援協議会やGH連絡会において、共通の課題について協議・解決への取り組みを行っています。

(なでくらセンター：a)

地域移行推進部が主となり関係機関・団体との連絡会等を通して、連携を図りながらネットワーク構築に努めています。

(まつくらセンター：a)

コロニーに地域移行推進部が窓口となり関係機関との連携を図っています。

(とがくら園：a)

船形コロニー地域移行推進部が窓口となり、相談事業所と連携し、問題解決に向け協働して取り組んでいます。

(かまくら園：a)

地域の関係機関・団体一覧があります。地域移行推進部が窓口となり関係機関との連携を図っています。医療機関関係については医療課が関わっています。

(おおくら園：a)

地域における関係機関、団体の一覧(当該市町村、計画相談事業所、医療機関等)があります。地域連絡会議は地域移行推進部が中心になり取り組んでいます。

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26

II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。

①・b・c

<コメント>

(事務管理センター：a)

地域の方へ体育館やグラウンドを解放しています。防災訓練の際は消防団や婦人防火クラブの協力を得ています。福祉施設向けのセミナーや地域住民向けの介護教室等開催しています。

(地域移行推進部：a)

福祉セミナー、介護教室の開催やボランティアの受け入れ、防災訓練への地域住民の参加等実施しています。また、グラウンドや体育館の開放もしており、施設機能を地域の方に利用してもらっています。

(なでくらセンター：a)

関係機関・団体・地域住民との連絡調整会議等にて地域福祉ニーズの把握・連携に努めています。地域住民には福祉セミナーや福祉体験教室等を開催しています。

(まつくらセンター：a)

地域の方へ体育館やグラウンドを開放しています。地元の協力を得て定期的に防災訓練に取り組んでいます。

(とがくら園：a)

地域の方へ体育館やグラウンドを解放しています。防災訓練の際は消防団や婦人防火クラブの協力を得ています。施設向けのセミナーや地域住民向けの介護教室等開催しています。

(かまくら園：a)

地域の方へ体育館やグラウンドを貸し出しています。また地元の協力を得て定期的に防災訓練に取り組んでいます。セミナーや介護教室を開催しています。

(おおくら園：a)

コロニーとして保有している体育館、運動場は地区に開放しています。又セミナー開催時には地区の方や地域の施設職員の参加もありました。

27

II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。

㉠・b・c

<コメント>

(事務管理センター：a)

地域移行推進部が中心となって地域の連絡協議会等に参加しています。

(地域移行推進部：a)

自立支援協議会等で福祉サービスの共通課題やニーズについて話し合われており、市町村毎の福祉計画に反映されています。コロニーからも委員や構成員として参加しています。

(なでくらセンター：a)

地域移行推進部が主な窓口となり、関係機関及び団体・地域住民との連絡調整会議等にて地域福祉ニーズの把握・連携に努めています。

(まつくらセンター：a)

地域移行推進部が窓口となり短期入所利用者の受け入れや施設見学など受け入れを行っています。

(とがくら園：a)

地域移行推進部が窓口となり関係機関・団体との連絡調整・会議等により地域の福祉ニーズの把握を行っています。また、短期入所利用の受け入れ、相談、施設見学等を積極的に行っています。

(かまくら園：a)

地域移行推進部が窓口となり，関係機関・団体との連絡調整，会議等により地域の福祉ニーズの把握を行っています。相談支援事業所ぱれっと，七ツ森希望の家と運営会議の場で情報共有しています。短期入所利用者の受け入れや施設見学等の受け入れを行っています。

(おおくら園：a)

地域移行推進部が窓口となり，関係機関，団体との連絡調整，会議等により地域の福祉ニーズの把握を行っています。相談支援事業所「ぱれっと」，七ツ森希望の家と運営会議の場で情報共有しています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉓・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>倫理要綱，具体的行動計画に基づきサービス提供に努めています。また，セルフチェックの実施で支援状況を振り返り，対応等検討されています。職員会議等で読み合わせなど実施しています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>倫理綱領，具体的行動計画を策定して，サービス提供に努めています。また，虐待防止のセルフチェックを定期的実施しています。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>倫理要綱に基づく具体的行動計画を掲示して周知しています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>倫理綱領・具体的行動計画が策定され，ホームページにおいても公開されています。虐待防止の自己チェックを定期的実施しています。園内ではポスター掲示のほかに毎週水曜日の引継ぎの場面で読み合わせを行い，理解を深めています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>倫理綱領に基づく具体的行動計画を掲示し周知しています。また具体的行動計画の中から取り組みをし，虐待防止のセルフチェックを行っています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>パンフレットの中にも管理運営の基本方針として利用者の尊厳を大切に明記しています。職員は虐待防止，セルフチェックを定期的に伝えています。倫理綱領等も作成し掲示しています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-②利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	㉓・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

倫理綱領や個人情報保護に関する規程を整備しています。虐待防止対応マニュアルがありません。旧基準で建てられた施設なので3～4人部屋もあります。

(なでくらセンター： a)

法人の倫理綱領及び具体的行動計画に基づき、個人情報保護規程や虐待防止マニュアルが整備されています。重度最重度利用者への周知に関し、内容の理解を求めるのは厳しい状況です。

(まつくらセンター： a)

倫理要領・個人情報保護に関する規程を整備しています。虐待防止対応マニュアルがあり職員セルフチェックを行っています。

(とがくら園： a)

倫理綱領やプライバシー保護に関する規程を整備しています。居室は1～2人部屋であり、プライバシー保護を推進しています。虐待防止対応マニュアルがあります。

(かまくら園： b)

倫理綱領、個人情報保護に関する規程を整備していますが、利用者一人ひとりにとっての生活の場として快適な環境の提供は難しく不十分である。

(おおくら園： a)

倫理綱領や個人情報保護に関する規程を整備しています。虐待防止対応マニュアルがありません。旧基準で造られた施設なので3～4人部屋です。

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

30

Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。

①・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

園・所の紹介パンフレットを作成しています。地域移行推進部が窓口となり初期相談の受付・説明をし、利用に至るまでの対応をしています。ニーズに基づき、施設見学も行なっています。情報提供については法令に基づき変更・見直しを行っています。

(なでくらセンター： a)

ホームページによる情報公開や紹介パンフレットを備えていますが、公共施設等における紹介パンフレット設置は不十分です。

(まつくらセンター： a)

コロニーを紹介するパンフレットを作成しています。施設見学受け入れ等も行っています。

(とがくら園： a)

ホームページにて船形コロニー全体と各部署の紹介を行っています。また、ブログでの情報提供も行っています。

<p>(かまくら園： a)</p> <p>地域移行推進部が窓口になっています。施設見学や短期入所利用等の受け入れに取り組んでいます。園の紹介パンフレットを用意しています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>園の紹介パンフレットを作成しています。地域移行推進部が窓口で、初期相談の受付とわかりやすい説明をし対応しています。ニーズに基づき、施設見学受け入れを行っています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㊚・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>利用者・家族等に分かりやすく説明しながら、同意頂いています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>地域移行推進部が入退所の窓口となり、契約には契約書、重要事項説明書に基づき利用者・代理人・家族等に説明し、同意を得ています。重度最重度利用者が内容を理解するのは難しい状況です。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>利用契約書、重要事項説明書に基づき利用者、代理人に説明し同意を得ています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>重要事項説明書・利用契約書に基づき、丁寧に説明を行う事に努めています。利用者とともに代理人、家族への説明と同意を得て実施しています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>利用契約書、重要事項説明書に基づき、利用者や家族、代理人に説明し同意を得ています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>福祉サービスの開始時に体制とサービスの種類、利用料等が明記されている重要事項説明書を利用者、家族、代理人等へ説明し同意を得ています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㊚・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>市区町村、相談支援事業所と連携しながら、本人・御家族の意向に沿って進めています。近年は長期入院での退所が主になっており、回復した際には相談頂くことでお伝えしています。相談窓口や代表番号をお伝えしています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>利用事業所の変更や地域生活への移行後は、相談支援事業所と連携を図る等して対応しています。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p>		

地域移行のアフターフォローや相談も対応しています。

(とがくら園：a)

利用事業所の変更や地域生活への移行時などは関係者、関係機関と連携を図っています。また、必要な情報提供も家族・本人などの承諾のもとに書面で提出しています。

(かまくら園：a)

地域移行後のアフターフォローや相談についても配慮した対応ができています。

(おおくら園：a)

家庭への移行にあたりサービスの継続性に配慮した手順と引き継ぎ文書を作成しています。広報誌になんでも相談の責任者を明記し、何か困りごとがあれば、相談を受ける事を家族に説明しています。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

33

Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

㉓・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部：a)

自治会の集まりや総会を開催し、利用者の声を聴く機会を設けています。自治会担当者が事務分担で決められており、利用者の声を反映しながら年間の計画・実施がなされています。

(なでくらセンター：a)

事業計画の「利用者の声の把握」に基づいて実施される「みんなの集い」により、利用者の声を聴取し満足度の上昇に努めています。

(まつくらセンター：a)

定期的に(月1回)利用者自治会(ひづめの会)を実施し、利用者の要望を聞く場を設定しています。

(とがくら園：a)

家族会、園長との懇談会、利用者自治会、個別支援計画作成時等で、利用者や家族の要望等を確認しています。

(かまくら園：a)

定期的に園長や栄養士との懇談会を実施し、利用者の声や希望を聞く場を設け満足度の上昇に努めています。

(おおくら園：a)

定期的に利用者自治会集会で要望を確認しています。園長との懇談会、栄養士との懇談会、利用者の声や嗜好調査実施しています。

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34

Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

㉓・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

<p>(地域移行推進部：a)</p> <p>苦情解決については、なんでも相談窓口を設置しており、担当者・解決責任者が明記された冊子を用意しています。契約時に使用する重要事項説明書にも明記され、説明しています。なんでも相談規程に沿って対応、委員会が定期的開催されています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>なんでも相談窓口担当者や解決責任者、第三者委員を配置し、相談を受け付けると共に相談結果の公表も行っています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>なんでも相談窓口を設置し、広報まつくらに掲載し周知しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>なんでも相談・苦情解決窓口担当者を設置し、第3者委員の設置を行い、ポスターの掲示などで周知を図っています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>なんでも相談の窓口設置及び担当者を明示し、掲示して周知しています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>苦情解決窓口担当者を設置し家族、代理人にも周知しています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>利用者からの相談については、重度の方が多いため日常の関わりから汲み取るようにしています。また、文書についてはなんでも相談窓口同様です。他の利用者から離れて職員室や相談室で聞けるようにしています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>作業班の朝礼や終礼、みんなの集いにおいて相談事や意見を聴取している他、個人的な相談も随時、受け付けています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>なんでも相談をポスター等で案内し、窓口を設置し利用者に周知しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>自治会集会や園長との懇談会を定期的実施して、要望等の把握に努めています。</p> <p>(かまくら園：b)</p> <p>自治会集会や園長との懇談会を定期的開催し、利用者の声や要望の把握に努めています。が、重度・最重度の知的障害を有しており十分とは言えません。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>ポスター等で利用者へ案内するとともに、なんでも相談窓口を設置し、家族、代理人等へ周知しています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

自治会や日常の仕草や表情で汲み取り，なんでも相談規程に沿って対応しています。

(なでくらセンター： a)

意見や苦情・相談対応マニュアルを整備して迅速に対応し，法人ではサービス向上ワーキンググループが支援の質の向上に取り組んでいます。

(まつくらセンター： a)

ひづめの会やなんでも相談・苦情等対応マニュアルに基づき速やかに対応しています。

(とがくら園： a)

なんでも相談規程に基づき処理を行い，記録票に記載して報告されています。また，受け付けた意見や苦情・相談については，迅速に対応しています。

(かまくら園： a)

なんでも相談・苦情等対応マニュアルに基づいて速やかに対応しています。

(おおくら園： a)

意見や苦情，相談の対応マニュアルを整備して迅速に対応しています。法人のサービス向上ワーキンググループにて取り組んでいます。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37

Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

㉠・b・c

<コメント>

(事務管理センター： a)

緊急時のマニュアルが整備され，職員に周知されています。リスク管理委員会により安全管理がなされています。

(地域移行推進部： a)

緊急時対応マニュアルを整備し(リスクマネジメント規程)職員に周知しています。安全に関わる各種委員会が設置され，委員会の中で見直しています。今年度は，黒川消防署に依頼し，普通救急救命講習を受講しています。

(なでくらセンター： a)

対応マニュアルを策定して職員に周知し，各種委員会も設置されています。関係機関と連携を図りながら安全管理対策を講じています。

(まつくらセンター： a)

緊急時対応マニュアルが整備され職員に周知しています。リスク管理委員会により安全に関わる見直しが行われています。

(とがくら園： a)

ヒヤリハットや事故の際には，SHEL分析を行うなど対策を講じるとともに会議の場において職員間で共有を図り，リスクマネジメント部会，委員会で対応しています。

(かまくら園： a)

緊急時対応マニュアルが整備され，職員に周知されています。リスク管理委員会により安全

<p>に関わる見直しが随時行われています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>緊急時対応マニュアルを整備し(リスクマネジメント規程)職員に周知しています。安全に関わる各種委員会が設置され、委員会の中で見直しています。</p>		
38	III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>感染症マニュアルに沿って適切に対応しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>感染症対策マニュアルを整備し、感染症の予防と発生時の対応を職員に周知のもと対応しています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>研修や感染症対策・対応マニュアルを通して、感染症の予防と発生時の対応を職員に周知しています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>感染症対策マニュアルが整備され、感染症マニュアルを職員に周知しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>感染症マニュアルを整備し感染症の予防と発生時の対応について職員に周知しています。また、安全確保に関する各種委員会(リスクマネジメント・防災交通安全・食事サービス・安全衛生・危機管理等)の委員会を設置しています。その他、職員向けに感染症についての研修会を開催。嘔吐などの対処について処理の仕方、処理キットなど整備しています。</p> <p>(かまくら園：a)</p> <p>感染症対策マニュアルが整備され、感染症予防と対策を職員に周知しています。</p> <p>(おおくら園：a)</p> <p>感染症対策マニュアルを整備し、感染症の予防と発生時の対応を職員に周知しています。</p>		
39	III-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：a)</p> <p>各種防災マニュアルに沿って適切に対応しています。</p> <p>(地域移行推進部：a)</p> <p>緊急時対応マニュアルに沿って各種訓練を実施しています。</p> <p>(なでくらセンター：a)</p> <p>緊急時対応マニュアルが整備され、各種訓練も実施しています。</p> <p>(まつくらセンター：a)</p> <p>緊急時対応マニュアルが整備され、各種訓練も実施しています。</p> <p>(とがくら園：a)</p> <p>緊急時対応マニュアルが整備され、日中・夜間・火災・地震等を想定した避難訓練を実施しています。職員安否確認システムを使い、緊急連絡網の訓練を実施しています。(緊急時対応</p>		

<p>マニュアル・避難訓練報告・自衛消防隊任務分担・安否確認システム)</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>具体的な防災対策の周知と地域住民・医療機関との連携を図り実施しています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>緊急時対応マニュアルが整備され、各種訓練を実施しています。</p>
--

III-2 福祉サービスの質の確保

III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	III-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>各種マニュアルにより、実施方法等は文書化され、新任・転任研修時に具体的な関わり方等周知されています。毎月のまとめやモニタリング時に実施状況の確認がされています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>各園で作成された個別支援計画書に基づいてサービスを提供しています。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>支援マニュアル等の活用や個別支援計画書に基づき実施しています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>倫理綱領に基づく具体的行動計画を作成し、毎月、支援の重点項目を掲げて全職員で取り組んでいます。安定した福祉サービスを提供するため経験年数に沿った研修の受講や本人の希望による研修受講等で人材育成を積極的に行っています。また、研修受講後は園内の会議において伝達研修を実施しています。マニュアル等の活用で支援の標準化を図っています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>支援マニュアルや個別支援計画に基づき実施しています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>日常生活・社会生活スキル支援マニュアルで対応し、支援の標準化を図っています。</p>		
41	III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>個別支援計画のモニタリング、見直し、事業所のサービス評価(自己評価)を実施しています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p>		

福祉サービス評価（自己評価）や個別支援計画におけるアセスメントやモニタリングにて検証や見直しを行っています。

（まつくらセンター：a）

個別支援計画のモニタリングやアセスメントシートにより評価や見直しを行っています

（とがくら園：a）

地域移行推進部において利用者情報が一元化され、いつでも変更等ができ最新情報が共有できるようになっています。また、個別支援計画は、アセスメント・モニタリングで見直しを図り、サービス等利用契約に基づいて作成され、代理人にも参画していただきながら要望・追加事項をいつでも変更できるようになっています。

（かまくら園：a）

個別支援計画のモニタリングやアセスメントシートにより、評価や見直しを行っています。

（おおくら園：a）

個別支援計画のモニタリング、見直し、事業所のサービス評価（自己評価）を実施しています。

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42

Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。

㉓・b・c

<コメント>

（事務管理センター：）

非該当

（地域移行推進部：a）

個別支援計画作成要領が整備され職員に周知しています。個別支援計画は必要があれば、他職種関係者に意見を求め作成しています。

（なでくらセンター：b）

個別支援計画作成要領が整備され職員に周知しています。個別支援計画の策定に当たっては、利用者や家族からの意向を確認して作成し、説明し同意を得ています。必要に応じ、部門を横断したさまざまな職種の関係職員（町職員・保健師等）との協議も実施しています。

（まつくらセンター：a）

個別支援計画作成要領を基に、関係職員との連携により支援計画書を作成しています。

利用者や家族からの意向を確認して作成し、説明し同意を得ています。

（とがくら園：a）

サービス管理責任者と連携を図り、支援計画を策定しています。個別支援計画作成要領が整備され、職員に周知されています。他職種連携は、特に必要とされる方に限るものの、医療課を通じて栄養士とも日常的に行っているため計画に反映させています。

（かまくら園：a）

個別支援計画作成要領に基づき関係職員と連携し作成しています。

（おおくら園：a）

個別支援計画作成要領が整備され職員に周知しています。アセスメントに基づきサービス管理責任者と担当職員が作成しています。また計画書を策定するための部門を横断した様々な職種による関係職員を交え会議で検討しています。

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>計画の見直しについてサービス管理責任者が設置され、手順などを含め関係職員に周知しています。個別支援作成要領に基づき評価、見直しを行っています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>サービス管理責任者が関係職員に周知し、年2回、アセスメントとモニタリングを実施し、評価・見直しを行っています。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>個別支援計画作成要領に基づき評価し、個別支援計画の見直しを行っています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>サービス管理責任者が設置され、年2回以上あるいは必要時には、いつでもモニタリングを実施し支援会議・アセスメントを行い、利用者ニーズを引き出し、個別支援計画を作成しています。個別支援計画作成要領に基づき個別支援計画の評価、見直しを実施しています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>サービス管理責任者が設置され、手順等を含め関係職員に周知しています。個別支援計画の評価・見直しを個別支援計画作成要領に基づき行っています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>サービス管理責任者が支援計画のモニタリング見直し手順等を含め関係職員に周知しています。個別支援作成要領に基づき年2回評価、見直しを行っています。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>サービス実施状況については、その都度所定の様式に記録し、職員間で共有化されています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>個別の日中活動支援結果を所定の様式に記録しています。毎日の引き継ぎや支援会議や職員会議等で情報共有を図っています。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>サービス実施状況については、その都度所定の様式に記録し職員間で共有化されています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>サービスの実施状況は個々にケース記録が作成され、日常生活、活動、健康面、文書管理等</p>		

<p>が記載、編綴しています。また、所内ネットワークを活用し、職員間で共有化しています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>個人ごとのケースファイルに日常生活・健康面・活動状況や文書管理が記載・編綴され、職員間で共有化されています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>法人の定めた記録のマニュアルに基づき記録し職員間で情報を共有しています。サービス実施状況の記録を担当職員が毎月記録しています。全利用者の記録ファイルをネットワークで回覧でき情報の共有が出来ています。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>特定個人情報保護規程が整備され、利用者、家族、職員へ周知されています。</p> <p>(なでくらセンター： a)</p> <p>法人として文書規程、個人情報保護規程、情報公開規程を定めています。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>法人による文書規程に基づいて対応しています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>法人により文書規程・情報公開規程・個人情報保護規程が整備され、利用者・家族・代理人・職員へ周知されています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>法人の文書規程に基づいて対応しています。個人情報保護規程が整備され、掲示して周知しています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>個人情報保護規程が整備され、利用者、家族、職員へ周知されています。</p>		

障害者・児福祉サービス版内容評価基準

評価対象 A-1 利用者の尊重と権利擁護

		自己評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
46	<p>A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p>		

(地域移行推進部： a)

自己決定出来るように、利用者自身の日常の様子から個別の希望を読み取ったり、買物等を希望する場合は計画的に実施するよう利用者と話し合いながら対応しています。計画から実施に際しては、職員間で共通認識のもと取り組んでいます。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。

(まつくらセンター： a)

利用者個人の情報を職員間で共有し支援しています。

(とがくら園： a)

利用者の主体性を大切にして個別支援計画書の作成に努めています。また、利用者の希望を尊重した外出や、毎月、自治会で話し合う機会を設けて希望を叶えています。

(かまくら園： a)

利用者の障害特性や詳細な観察の中から、職員間で必要な情報を共有し支援計画に組み込み、個別支援ができています。

(おおくら園： a)

利用者の主体性に合った個別支援計画書を作成しています。利用者の意向を尊重した個別での外出を行っています。毎月自治会で話し合う機会を設け希望に沿っています。

A-1-(2) 権利侵害の防止等

47

A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。

㊤・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

利用者自治会の中で職員が利用者の権利について説明しています。権利擁護や身体拘束等については、各種規程に基づき対応しており、職員セルフチェックで振り返りを行い、集計・検討されています。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。

(まつくらセンター： a)

自治会(ひづめの会)を月1回開催し、利用者の意向を受け行事や活動に取り入れ行っています。

(とがくら園： a)

権利侵害の防止と早期発見をするための取り組み（虐待防止マニュアル・権利擁護マニュアル）が構築され、定期的に権利侵害の防止に取り組んでいます。

(かまくら園： a)

緊急やむを得ない場合の身体拘束については規程に基づき実施しています。

(おおくら園： a)

セルフチェックを定期的に行っており、具体的行動計画を毎年見直しています。

評価対象 A-2 生活支援

		自己評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
48	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	㉠・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>障害状況を踏まえて対応しています。必要な支援については、個別支援計画に基づき、職員間で共通認識のもと支援しています。</p> <p>(なでくらセンター：)</p> <p>※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>必要な支援については個別支援計画書に基づき、職員間で共通認識のもと支援しています。</p> <p>(とがくら園： b)</p> <p>個別支援計画書に基づいた支援を行っています。</p> <p>(かまくら園： a)</p> <p>障害特性や、詳細な観察の中から、職員間で必要な情報を共有し、個別支援計画に組み込んでいます。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>個別支援計画に基づいた支援を行っています。個別での買い物外出の支援をしています。</p>		
49	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・㉠・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>利用者個々の情報（関わり方や配慮の内容等）を職員間で共有し支援にあたっています。言葉でのコミュニケーションが難しい方には、写真や絵カード、身振り手振り等でコミュニケーションを図る等しています。</p> <p>(なでくらセンター：)</p> <p>生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。※日中活動を行う上で他の利用者との関わりを含め、十分な配慮のもとコミュニケーション支援を行っている。</p> <p>(まつくらセンター： a)</p> <p>利用者の個々の情報を職員間で共有し支援に当たっています。言葉でのコミュニケーション</p>		

が難しい方には、身振り手振りでコミュニケーションを図っています。

(とがくら園：b)

コミュニケーションが取りづらい利用者への個別的な配慮は行われていますが、十分ではありませんでした。

(かまくら園：a)

重度・最重度の知的障害を有していることを踏まえ、必要な支援を行っています。

(おおくら園：b)

日中活動や余暇活動等の場面で心身の状況に応じたコミュニケーションを図っています。しかし、コミュニケーションを高める支援や代弁者の協力については十分ではありませんでした。

50	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部：a)

利用者の障害程度を踏まえて支援にあたっています。個別支援計画の作成時に支援会議を実施し、利用者の要望を反映した計画・実施を検討しながら支援に繋がっています。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。

(まつくらセンター：a)

個別支援計画書の作成時には支援会議を開催し、利用者の要望を反映した計画実施を検討しながら支援に繋がっています。

(とがくら園：a)

毎月、利用者の声として取り上げ、実現を図っているととも園長との懇談会や自治会集会等を定期的に設け、利用者の希望を聞くことに努めています。

(かまくら園：a)

園長との懇談会や自治会集会の場において、利用者の声を聞くよう努めています。

(おおくら園：a)

担任職員、各種係職員が窓口となり、個別に相談を受けています。またサービス管理責任者と関係職員による検討と理解共有を行っています。

51	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部：a)

利用者の障害状況に合わせて支援にあたっています。利用者の要望を反映した個別支援計画と実践を検討しながら支援に繋がっています。地域の情報については、随時掲示し情報提供に

努めています。

(なでくらセンター：)

生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。※月1回のみんなの集いで聞かれた希望や意見を基に、地域資源を活用した外出や催し等を実施しています。地域交流としての行事参加も支援しています。

(まつくらセンター： a)

月1回のひづめの会を開催し利用者の意見を基に、行事等に活用した社会見学等を実施しています。地域交流の行事等にも参加しています。

(とがくら園： a)

個別支援計画に基づき、日中活動のメニューをベースに、利用者に合わせた日中活動を展開しています。

(かまくら園： a)

障害特性に応じた日中活動メニューを提供するよう、個別支援計画に組み込んでいます。

(おおくら園： b)

個別支援計画書に基づいて、日中活動の多様化を図り利用者の状況に応じて活動内容(プログラム)を工夫しています。地域で行われるゲートボール大会や小学校の交流会にも参加しています。

52

A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。

㊦・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

職員研修として各種研修に参加し、強度行動障害支援者養成講習（基礎・実践）も受講し、重度障害者支援部会の中で個別の支援計画シートや手順書を作成しながら支援にあたっています。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当ながら、利用者の状況により活動班の編成を行い支援にあたっています。

(まつくらセンター： a)

利用者の状況に応じた作業種の提供を行い、知識技術の習得と支援の向上を図っています。

(とがくら園： a)

職員は障害に関する専門的知識の習得と支援の向上を図っています。また、利用者の状況に合わせた支援方法の見直しなど、職員間による支援会議等で検討・共通理解を取っています。

(かまくら園： a)

強度行動障害支援者養成研修等に参加し職員各自のスキルアップに努めると共に、職員間で随時支援方法について検討・見直しを行うなどしてよりよい支援に努めています。

(おおくら園： a)

各種研修に可能な限り参加しています。利用者の情報を職員間で共有し適切な対応を行っています。

A-2-(2) 日常的な生活支援

53	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
----	--------------------------------------	-------

<コメント>

(事務管理センター：)
非該当

(地域移行推進部： a)

個別支援計画作成・実施の中で、障害程度や自立度に合わせた支援について確認し、職員間で共有のもと支援にあたっています。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当ながら、個別支援計画書に基づいた支援をしています。

(まつくらセンター： a)

個別支援計画書に基づいて行っています。

(とがくら園： a)

個別支援計画に基づき、利用者の心身の状況に応じ、食事、入浴、排泄、移動、移乗などの支援を行っています。

(かまくら園： a)

障害特性に応じ、その時々の利用者の状態に合わせた支援に努めています。

(おおくら園： a)

食事は栄養士により利用者の嗜好を考慮した献立となっています。利用者の心身の状況に応じて入浴、排泄、移動、移乗支援を行っています。

A-2-(3) 生活環境

54	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

(事務管理センター：)
非該当

(地域移行推進部： a)

毎日の清掃を行い、清潔に過ごせるよう努めています。また、危険箇所や破損箇所については、総務課と連携を取りながら早急な改善をしており、安全確保に努めています。不穏時などは皆から離れたところでクールダウンしてもらおう等しているところです。生活環境については、利用者の意向を取り入れながら同様に対応しています。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当ながら、安全衛生委員会で職場巡視をしていただき、安心・安全な活動環境に努めています。

<p>(まつくらセンター： a)</p> <p>利用者の作業については目配り気配りを常に行い、安心して働ける環境作りに努めています。</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>毎日、清掃を行い、清潔に過ごせるよう努めています。また、汚れた都度、職員が対処しています。</p> <p>(かまくら園： b)</p> <p>建物自体が古い造りのため暗さが感じられますが、装飾等での雰囲気作りに努めています。</p> <p>(おおくら園： a)</p> <p>利用者の生活空間に関して危険箇所のないように配慮しています。また、利用者の心身状況に合わせた居室を使用し利用者の意向に沿うよう取り組んでいます。</p>		
<p>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</p>		
55	<p>A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：)</p> <p>非該当</p> <p>(地域移行推進部： a)</p> <p>個別支援計画作成の中で機能訓練等が必要な方については、作業療法士などの専門職による機能訓練を定期的に取り入れています。モニタリングも定期的（半年毎）に行っており、必要な際は見直しもされています。</p> <p>(なでくらセンター：)</p> <p>※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。</p> <p>(まつくらセンター：)</p> <p>非該当</p> <p>(とがくら園： a)</p> <p>利用者の意思を尊重し、こだわりのある方にも本人の理解や納得を促しながら、機能訓練・生活訓練に取り組んでいます。</p> <p>(かまくら園： b)</p> <p>専門職の助言や指導を基に機能訓練は行っていますが、生活動作や行動の中で利用者が主体的に機能訓練や生活訓練を行える工夫については十分ではありません。</p> <p>(おおくら園： b)</p> <p>個別支援計画に基づき機能訓練・生活訓練を行っています。また、機能訓練士の助言の元行っていますが一部に留まっています。</p>		
<p>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</p>		
56	<p>A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p>		

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

嘱託医が週2回，産業医が週1回来所し，健康面で心配のある方は早めの受診が出来るようになっています。職員研修の中で健康面についての研修も計画的に実施されています。

(なでくらセンター：)

生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。※日中活動参加に際しては，日頃より各園と健康状況確認を密に取るよう図っています。

(まつくらセンター： a)

定期健康診断の実施。毎日1回の検温を行い利用者の健康観察を実施しています。

(とがくら園： a)

生活支援の様々な場面における「いつもと違う」という気づきを大切に，看護師と連携して利用者の体調変化への迅速な対応等に取り組んでいます。

(かまくら園： a)

協力医療機関や医療課との連携を図って利用者へ対応するとともに，週2回園内において医師による診察を受けています。

(おおくら園： a)

支援の様々な場面において健康状態の把握をしています。利用者の体調変化には，迅速に対応し必要に応じて医療機関を受診しています。健康管理等を目的とした職員研修を行っています。

57

A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。

a・b・c

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部： a)

嘱託医や産業医の診察もあり，健康管理については医療課と連携しながら適切な対応に努めています。服薬についてもマニュアルに沿って適切に服薬支援されています。職員研修等は上記同様です。

(なでくらセンター：)

※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。

(まつくらセンター： a)

服薬についてはマニュアルに沿って適切に服薬支援を行っています。

(とがくら園： a)

安全管理体制と法令遵守のもと適切に行われるよう取り組んでいます。

(かまくら園： a)

マニュアルに沿って実施しています。

(おおくら園： b)

利用者個別に医療機関を受診する計画があり，服薬等の管理も適切に行っています。医療的

な支援に関する職員研修を定期的に行っているが個別指導等は十分ではありませんでした。

A-2-(6) 社会参加, 学習支援

58	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

(事務管理センター：)
非該当

(地域移行推進部： a)
可能な方には個別支援計画に基づき、買物や選挙支援などを行っています。利用者の重度化に伴い、学習までは至らないところもありますが、情報提供しているところです。

(なでくらセンター：)
※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当ながら、社会体験の場を設定しています。

(まつくらセンター： a)
個別支援計画書に基づき支援を行っています。

(とがくら園： b)
利用者の希望と意向を尊重した個別でのドライブや社会体験外出を実施していますが、極めて少なく、社会参加に資する情報や学習支援の提供や工夫には至っていません。

(かまくら園： b)
社会体験外出を定期的実施していますが、学習支援と工夫は行っていません。

(おおくら園： b)
利用者の希望と意向を尊重した個別での社会体験外出をしています。社会参加に資する情報や学習支援の提供までには至っていません。

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

59	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

(事務管理センター：)
非該当

(地域移行推進部： a)
個別支援計画に基づき、地域生活移行を希望される利用者・代理人に情報提供等出来るよう相談支援事業所と連絡取り合っているところです。

(なでくらセンター：)
※生活介護（日中活動として軽作業による生産活動等専任）部署に非該当。

(まつくらセンター： a)
地域の関係機関と連携を取りながら協力を行っています。

(とがくら園： b)

地域移行推進部と連携を図り取り組んではいますが、利用者からの希望や意向が明確にできないこともあり、十分ではありません。

(かまくら園：a)

随時、地域移行推進部と連携を図り取り組んでいます。

(おおくら園：b)

利用者の希望を尊重し社会体験外出を提供しています。地域生活への意向や地域生活の課題を把握していますが具体的な生活環境への配慮や支援までには至っていません。

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

60	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・b・c
----	--------------------------------------	-------

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部：a)

定期的なモニタリング(半年毎)やその他必要な場合には家族と連絡を取りながら報告・意見交換の場を設けています。急変時の対応については、利用契約書に記載されており、契約時に説明・同意を得ています。

(なでくらセンター：)

※生活介護(日中活動として軽作業による生産活動等専任)部署に非該当。

(まつくらセンター：a)

定期的なモニタリング(半年毎)やその他必要に応じ家族との連絡を取り行っています。利用契約書に記載されており規約時に説明、同意を得ています。

(とがくら園：a)

利用者の生活状況について、日常的に連絡を取り(体調不良時や急変時など)必要に応じて連絡を行っています。また、家族からの相談にも随時対応しています。その他、家族との交流の機会として、ふれあい面会日や家族参加の行事(活動参観・忘年会)で交流を図っています。

(かまくら園：a)

日頃から家族との連携を図ると共に、家族も参加できる行事を計画する等して交流の機会を持つようにしています。

(おおくら園：a)

利用者の生活状況について、月に一度の報告の他、体調不良時や急変時など、必要に応じて連絡を行っています。また、家族からの相談にも随時対応しています。家族との交流の機会としてふれあい面会日の設定や家族参加の行事(旅行、芋煮会、忘年会)で交流を図っています。

評価対象 A-3 発達支援

	自己評価結果
--	--------

A-3-(1) 発達支援		
61	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：) 非該当</p> <p>(地域移行推進部：) 非該当</p> <p>(なでくらセンター：) ※非該当</p> <p>(まつくらセンター：) 非該当</p> <p>(とがくら園：) 非該当。</p> <p>(かまくら園：) 非該当。</p> <p>(おおくら園：) 非該当。</p>		

評価対象 A-4 就労支援

		自己評価結果
A-4-(1) 就労支援		
62	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・①・c
<p><コメント></p> <p>(事務管理センター：) 非該当</p> <p>(地域移行推進部：) 非該当</p> <p>(なでくらセンター： a) 日中活動として軽作業による生産活動支援を行っている中で、作業意欲の維持や向上、可能性を引き出すような取組と工夫を行っています。</p> <p>(まつくらセンター： a) 利用者の状況に応じた作業種類（クレーン、農耕、ランドリー）の提供を行い、関係機関との連携を図りながら就労支援に取り組んでいます。</p> <p>(とがくら園： b)</p>		

日常生活において、簡単な作業に取り組み、可能性を引き出すような支援を行っています。また、なでくらセンターと連携し、生産活動に携わっている方もおり、意欲の助長等において支援しています。

(かまくら園：c)

日常生活において簡単な作業に取り組んだり可能性を引き出すような支援を行っていますが、「就労」の観点からの取り組みは行っていません。

(おおくら園：b)

一部の利用者ではあるが、意向や障害の状況に合わせて生活介護の中で簡単な作業を行っています。

63	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部：)

非該当

(なでくらセンター：c)

個別支援計画に基づく就労支援対象利用者は居ませんが、障害状況に応じた配慮や工夫は行っています。

(まつくらセンター：a)

個別支援計画や工賃向上計画に基づき、工夫を凝らした取組を行っています。

(とがくら園：b)

なでくらセンターと連携し、個別支援計画に基づき、各利用者の特性に応じて、適切な仕事内容等となるように取り組みと配慮を行っています。

(かまくら園：c)

作業のできる一部の利用者については、なでくらセンターと連携して取り組んでいますが、十分とは言えません。

(おおくら園：b)

当園独自では行っていませんが、なでくらセンターと連携して取り組んでいます。

64	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

(事務管理センター：)

非該当

(地域移行推進部：)

非該当

(なでくらセンター：c)

個別支援計画に基づく就労支援対象利用者はいないので、就労活動等の就労支援は行ってい

ません。

(まつくらセンター：a)

野菜等の販路の拡充や一般就労を目指した作業技術の向上が図れる支援を行っています。

(とがくら園：c)

行っていません。

(かまくら園：c)

行っていません。

(おおくら園：c)

行っていません。